

(再開 午後1時00分)

議長（勝山 正）

休憩前に引き続き議を開きます。

6番、丸山邦久議員。

(「はい、議長。6番。」の声あり)

(6番 丸山邦久 議員 登壇)

1. 少子化対策プロジェクトについて

6番 丸山邦久 議員

それでは、通告に基づきまして、2項目にわたって質問をさせていただきます。

1つ目です。少子化対策プロジェクトについて。

最近、2月18日に自動的に録画されていた上杉鷹山の番組「なせばなる」を見ました。あまりに木島平の現状に似ているので、つい真剣に見入ってしまいました。

鷹山が藩主になった1768年頃の米沢藩は、1695年に13万人以上いた領民が9万5千人まで減少し、73年で27%の減少になっております。

ちょうど木島平も始まってから70年ですので比較してみると、木島平は8千人いた人口が4千人。減少率だけから言えば、木島平の方がよっぽど深刻であります。減少している原因が違うわけですが、木島平も半減している。

1768年当時、男性5万5千人に対して女性4万人、女性が男性に対して72.7%。女性の数が圧倒的に少なかったようであります。これは、当時の農業というのは非常に重労働だったものですから、女性の方が農業の働き手としてはふさわしくないというか、そういうような形で、言葉悪いですけども間引きをされたのではないかと、これはNHKが推測で出しておりました。

それから借金が20万両ありました。これは藩の年間総支出の5年分です。それに比べると、実質公債費比率の13.2%はずいぶん軽いなど、軽くはないのですがそんなふうに感じてしまうぐらい当時の米沢藩はひどい状態であると。この状態から幕末の1860年、92年後なのですが、再び13万人にV字回復をしています。男女間の差も鷹山の治世以降、縮まってほとんど差がなくなっているようであります。もちろん20万両の借金も完済しております。

鷹山の施策は、木島平の参考になると思い紹介します。

「子供手当」赤子養育政策といいまして、子供5人以上の家庭に大人1人分の生活費を支給しました。それから「地域福祉」、独居老人や障がい者、親のない子供を隣近所ですいたわる制度を作っております。それから「結婚支援」、田畑が少ない新婚家庭には土地を与え、3年間の年貢を免除したようであります。長期的な視野で年貢の向上を図っております。それから「名産品開発」、米沢織など開発して藩を潤わした。一番これが大きかったようであります。そういう政策を持って、幕末、借金も完済して領民も元に戻って、天明の飢饉のときにも、米沢藩には「餓えるものなし」と言われたような善政を敷いたようであります。

250年も前に現代と遜色のない施策をしていたことは驚くべきことではありますが、上杉鷹山の成功例を踏まえ、現時点の木島平に視点を変えて質問をさせていただきます。

1番目です。木島平村第7次総合振興計画の重点プロジェクトの1番目に「少子化対策プロジェクト」が挙げられています。これは以前、一般質問で「村長として何をされたいか」とお聞きしたときに、村長が「少子化に歯止めをかけたい」とおっしゃった。村長の肝いりプロジェクトと思えるわけですが、3月の一般質問では、具体的な施策・方策は「まだない」との答弁でありました。

3か月経って施策は出てきたでしょうか。お答えをお願いします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日臺正博）

第7次での具体的な施策ということではありますが、先ほど、湯本議員のご質問にもお答えしましたが、少子化に対する本当にこれはっていう100%正解の答えというのは出てこないのだろうと思います。もしそれができるのであれば、少子化対策は本当に力を入れている中でしっかりとした答えが出ているんだと思いますが、それがなかなかできないというのが実態であります。

ただその中で、先ほど申し上げましたとおり、少子化対策に関わってくるだろうということで、村が実施可能な施策について、第7次の計画の中で取り上げて進めてきているということでございます。具体的な施策とすれば、それなりの施策として挙がってきているということでもあります。

少子化対策のプロジェクトについて具体的な施策ということではありますが、3月の議会でも出ておりますが、第7次総合振興計画を上位計画として、人口減少に特化した第3次総合戦略に基づいて施策を展開しております。4つの重点プロジェクトを掲げて、その一つを「少子化対策プロジェクト」としているということでもあります。さらに、その中で更に4つの施策の方向性を示しており、具体的な施策の展開をしていくということになっております。

1つ目は、総合的な子育て環境と魅力的な教育環境では、子育て支援の充実として新たに給食費無償化、高校生の就学費助成など、保護者負担軽減を図ることを新たに取り組むということで、引き続き充実した子育て環境の整備を進めてまいります。

2つ目として、安心して子育てできる医療体制ということで、村内外の医療機関との連携強化と医師派遣経費に対する支援を拡充することで、安心して子育てできる医療体制の確保に向けて取り組んでおります。

3つ目として、若い世代が安心して暮らせる住環境ということでもあります。若い世代が暮らせる賃貸住宅が少ないといったご意見を受け、若い世代向けの賃貸住宅建設補助を創設して住宅の確保を進めてまいります。

最後の4つ目として、若い世代の負担を軽減するとして、地域活動の負担軽減の一つとして、消防団の活動負担の軽減や人口減少に伴い、具体的に提言や人口減少などに伴って具体的に検討していく必要があると考えております。

また、ほかの3つのプロジェクトについても併せて実施していくことで、人口減少対策や消費者対策につなげていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

3か月経ってもまだ具体的なものは出てこないということらしいですが、世の中でこうやれば必ずこうなるなんていう、成功するとかそういうことってあんまり今の世の中見えないと思うのですよ。これは経営をしても一緒です。

昔であれば、ベンチマークすべき国があって、要するに国のやっていく方向に同じようにやっていけば成功するのではないかなというような形で日本は進んできたわけですが、1980年ぐらいに突如そのベンチマークすべき国が見当たらなくなっちゃって、それで方策がなかなか決まらないというような時代になりました。

現時点も何か（村長は）決まらない、わからないと言っているのですが、Plan・Do・Check・Actionって知っていますよね。何か思いついたらまずやってみて、それがうまくいかなかったら改良して次のことを考えるという方策も大事だと思います。何も手をつけなくて、それで難しい難しいって言うだけではちっとも世の中進んでいかないし、この村はよくなっていかない。いつまで難しい難しいって言っているのか、ちょっとこれは聞いている方とすれば、そうじゃなくて何か試

しにやってみるようなこと、そういうことってできないですか。ないですか。そういうことは。

議長（勝山 正）

日臺村長。

村長（日臺正博）

具体的に何もしていないというのは全く誤解というか、間違いであります。

先ほど湯本議員のご質問にお答えしましたように、村として考えられる対策については具体的に実施してきているということになります。それがそのまま少子化対策にすぐに結びつくかどうかは、先ほど申し上げたとおりわかりません。言ってみれば、考えられることを全て実施しているという前提でお考えいただきたいと思います。

むしろ、それだけしっかり言われているということは、丸山議員の独自のお考えをお持ちだというふうに思いますので、ぜひその辺をご披露いただいて、また参考にできればと思いますのでよろしくお願いいたします。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

私のアドバイスを受けると結構高くなりますので、そこはただで聞こうなんて思わないで、ちゃんとアドバイス料をお支払いいただいてやっていただけたらなと思います。

とりあえず2番目にいきます。現時点で把握している令和7年度の出生予測はどのぐらいですか。

議長（勝山 正）

梅寄民生課長。

民生課長（梅寄伸一）

今年度の出生予測ということでございますが、なかなか予測というのは困難でございます。年度内の出生数につきましては、おおむね8月までに受け付ける妊娠届の人数と考えられますが、現在の届出は7人という状況です。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

7人というのは去年よりも増える予測だということですよ。去年7人でしたよね、確か。もう既に7人がほぼ確定ということで、プラスアルファがあるのではないかとというふうに受け取っていいのでしょうか。

議長（勝山 正）

梅寄民生課長。

民生課長（梅寄伸一）

議員おっしゃるとおり、昨年も7人ということで、現時点ではその7人はクリアしているのですけれども、あと3か月で増えることを期待するというような状況でございます。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

少子化対策プロジェクトで、確か1年間の平均出生数21人でしたよね。今年例えば7人プラスアルファだとすると、当然21人はいかないわけですし、そうすると平均ということは、そのいま足りない分を、今度は4年で回復しなきゃいけないという話ですよ。そういう考え方でいいのですか。

議長（勝山 正）

梅寄民生課長。

民生課長（梅寄伸一）

今年につきましては、先ほど申し上げたとおりの人数ということでございまして、計画について極力近づけるよう村の施策を推進してまいりたいと考えております。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

頑張っていらっしゃるようなので、ぜひ頑張ってくださいと言うしかありません。

3番目にまいります。ここが一番私言いたいところなのです。上杉鷹山の施策で、木島平が一番足りてないもの、これは名産品の開発であると考えますが、村長の見解はいかがでしょうか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

名産品という言葉かどうかわかりませんが、うまいきじま平米、木島平の農産物と言われる中で、村の特産品言わば名産品かなと思います。そんなことで生産販売を支援していきたいと思っております。

ただ、正直言ってそれ以外に際立った名産品がないというのが現状であります。そのため、創業支援事業や特産品の開発支援事業、新たな名産品の開発を支援していきたいと考えております。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

その辺が上杉鷹山は全く違うわけでありまして、まず何を始めたかということ、漆100万本を植える、桑100万本を植える、楮100万本を植えるから始めているのです。最終的には、漆はあんまり効果がなくて、桑100万本を植えたのが上杉藩をものすごく潤す基になったわけです。何をやったかと言ったら、米沢織。これを開発して官民一緒になって品質チェックをして良い品物を安く出した。このことによって、年間10万両の収入が米沢藩にあったらしいです。10万両というと10億円ですかね。そのぐらいにはなると思うのですが、そういう収入を得ることができた。

日墓村長ももう10年やられていて、今まで何かそういうことをやろうと思ったことはあったのです

かね。お聞きします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

正直申し上げまして、江戸時代の藩体制と今の地方自治体の行政は全くシステムが違いますので、村から強制的にこれ植えなさいとやるのはほぼ不可能だと思います。ただ、奨励することはできます。

かつて村では、山ぶどうを作ったり、それからまたヤーコン奨励したりしたこともありました。結果的になかなかうまくいかなかった部分もありますが、今、村では遊休荒廃地の活用を兼ねてそばの作付けを行っております。

結果として、今「名水火口そば」という名前でそばを出しているわけですが、長野県と言えば「そば」、そしてまた、木島平でもそばが食べられる、米だけじゃなくてそばも味わえるという意味で、今、村内でそばの作付けを約30ヘクタールやっております。これについては、村の方で荒廃地対策を兼ねて特産品の一つとして実際進めてきているということがあります。

ただ、最初に申し上げましたように、特産品の開発については、村から強制的にというよりも奨励をして支援はしますが、あくまでもやっぱり民間であるべきだろうと思います。その辺は仕組みが違っているのでご理解いただきたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

私は何も漆10万本を植えろとか100万本を植えろとかという話ではなくて、日碁村長が指導力を発揮してこういう振興策を作るとか、そういうことをやられたことがあるのかということを知っているのです。名産品開発という名前にとらわれないで、例えばニュービジネス、産業振興策、そういったものを今まで10年やられているわけですよ。10年。10年やられていて何かあったのか。ヤーコンなんかもう日碁村長以前の話だと僕は思うのですが、そういう話じゃなくて、私はこれをやったんだというのを聞かせたい。お願いします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

先ほど申し上げたそばについては、私が就任する前からありますが、現在の農業振興公社で作付けをして荒廃地対策として取り組んでいるということについては、私のときからということでもあります。それ以前からやっておりましたが。そのほか白ネギなどについては、むしろ農家の方から盛り上がってきた、振興してきている、それを支援しているというのが実態であります。

そういうことでいいのかどうか、それはわかりませんが、先ほど申し上げたとおり、あくまでも特産品とかそういうものはやっぱり民間の方から盛り上がってきて、それを村がしっかりと支援していく、それが本来だろうと思います。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

もちろん民間から盛り上がったならそれ最高ですよ。

でも、この木島平の農地の広さ、そこから農家としてやっていくのは何件あるとか、その他の人たちはどういう職業というか、ほかのことを考えていかなきゃいけないわけですよ。そういうプランもやっぱり行政の仕事じゃないかと私は思うんです。ただ小さい畑にしがみついて作れというのではなくて、米農家だったら10件とか20件とかあればこと足りるような時代になってきていると思うんです。であれば、そのほかの人たちはどうやって食うのかと。

さっき米沢織の話をしてしまいましたが、なんで男女間の比がなくなったか。これは養蚕業、要するに米沢織をやるのに養蚕業が必ず必要ですよ。養蚕を奨励した。養蚕業って桑の餌を与える、案外軽作業なもので、これは女性の仕事になったんですよ。だから、鷹山の治世からどんどん男性女性の差がなくなって、ほぼほぼ同じぐらいの数字になっている。女性が増えれば、当然子供も増えるわけですし、以前の私の一般質問でもやりましたが、女性の就けるような仕事をやっぱり増やしてくださいよと、その方策としてはIT産業とかは有望ですよという話を私はしたと思う。だけど、何か取り組み方がいまいち少ないような気もしてまして、村長の取組する意欲をお聞きしたい。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

ちょっと質問の趣旨がだんだんずれてきているように思いますが、さっき申し上げました、丸山議員が有効な案があるなら示していただきたいと。先ほどアドバイス料という話がありましたが、そのための議員であります。しっかりと議員報酬を得ているはずなので、それは言ってみれば議員の務めでもありますので、その辺はやはり果たしていただきたいと思えます。

さっき申し上げましたように、村とすれば産業だけでなく、子育て環境とか生活環境とか住環境とか、少子化対策については考えられるものについてあらゆる方面から、実現可能な村ができる範囲で取り組んでいるということはしっかりご理解いただきたいと思えます。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

報酬の話が出ましたが、上杉鷹山がまず真っ先に取り組んだことは、まず自分の生活費を7分の1にした。これ村長の報酬を7分の1にすると、ちょうど私ぐらいなんですよ。そうすると、生活できるんですよ、村長。子育て終わっているんだから。そこまでしたら、村長本気だなと僕は思う。

議長（勝山 正）

その質問は、内容が変わっています。

6番 丸山邦久 議員

だって、議員報酬のこと言うからさ。

議長（勝山 正）

だから、そういうことで報酬を頂いているんだから、その中でやるのも大事ななっていうのは村長の考えであって、それが低いかからどうのこうのって言っているつもりはないと思えますので。

そんなことで内容を変えてください。

6番 丸山邦久 議員

分かりました。

私は、私よりはるか高い報酬を得ている村長は必死になって考えなきやいけねんじゃねえのかなと思うんですよ。そういう意見です。別に質問ではありませんが。いつまでたっても平行線なもので、次の問題いこうかなと思います。

やはりこういう成功事例があるんで、何をもって成功したか、どうして米沢藩はちゃんと回復できたのか、やっぱり村長はそこをしっかりと勉強していただきたい。

2. ファームス木島平の今後について

6番 丸山邦久 議員

次にまいります。2番目、ファームス木島平の今後についてであります。

ファームス木島平のリニューアル計画について、主に立地が悪いということから、私は反対の立場でまいりました。別の切り口もあるかなと思って、それも含めて質問をさせていただきます。

日墓村長は、ファームスの立地についてどのように考えているか。また、今後良くなると考えているかお伺いします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

国道403号よりも、交差する県道飯山野沢温泉線の方が交通量は多いというのは確かであります。ただ、現在、国道の歩道設置に合わせて拡幅改良を行っておりますので、交通量の増加に期待をしているわけでありませぬ。

ただ、県道からも人を呼び込めるような施設にしなければならないと考えております。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

私は、立地で苦勞もしたし、立地でうんと得もしました。立地で苦勞したのは、皆さんもご存知の丸山酒店です。本当に、10の努力をしても4とか5とかしか報われない。逆に、5km周辺30万人以上いるところに行ったら、1の努力が10になるようなこともあったんです。

立地というのは本当に重要なんです。村長や行政の皆さんは、そういう苦勞をされていないから案外簡単に考えるけど、立地というのは本当に事業の命運を左右する重要なファクター、要素なんです。立地が悪いと、まず安く売らざるを得なくなるんです。これは農家の皆さんの儲けが減るわけでありませぬ。それと、常に努力していると、だんだん意欲をそがれるというか、意気消沈しちゃう部分があつて、とてもあの場所でするのは私は大変だと思つております。もっとみんなが高く売れて喜ぶ、儲かつて喜ぶというような場所で考えると、違う事業にするということは考えられませぬか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

立地が大事ということは、私も十分承知しているつもりであります。あの施設が農の拠点施設とし

て建設される当初、一番心配したのは立地の問題であります。

ただ、今現在、村としてあそこにある資産、それからまた土地も含めて、それをいかに活用していくか。先ほど申し上げましたとおり、逆にあそこに呼び込めるような施設にしていければというのが今の考え方であります。

総合的に考えて、前回、再整備計画をお示ししたわけですが、これからどういうふうにするかは、先ほど申し上げましたとおり見直してまいります。いずれにしても、立地とすれば、あその場所で考えていかざるを得ないんだらうと思っていますので、よろしくをお願いします。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

山崎議員の質問の中にもあったと思います。今後の人口減とか高齢化とか、あの場所が今後立地として良くなる可能性って私は非常に少ないと思うんですね。悪くなっていくところというのは、本当に困ったもので、同じ努力をしても売上が下がっていくわけですよ。そういうところでやっぱりファームスのような事業を考えられるのは、私はいかがなもんかと思うんですが、村長、今後あの立地良くなると思いますか。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

考え方については、先ほどから何回も申し上げているとおりであります。立地が完璧ではないということはまだ承知しています。

ただ、それを踏まえたうえで、今ある現状を踏まえて総合的に判断しながら、もし再整備の中で考えるとすれば、それでもやはり人を呼び込める施設にしていかなきゃならないと思っているということです。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

なかなか意見は平行線のままであります。立地で苦労した人の話を少しは聞いていただけるとありがたいなど。立地のことは、村長はわかっていると言うけど、実際はわかりません。経験がないんだからわかりようがないんですよ。そういう人の意見を真面目に聞いていただけたらなと思います。

2番目にまいります。計画段階からプロポーザルで選定した事業者を参画させるとのことです。村長としてこれだけは実現したいと考えていることは何ですか。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

子供連れなどが家族で憩うとか、楽しめる機能も必要だと考えております。また、農産物を始めとした特産品の販売や、飲食の提供は、産業振興や村民の収入増とともに遊休荒廃地対策、それからま

た高齢者の皆さんの生きがい対策にもつながると、そういう意味では必要な機能と考えております。道の駅として、村内外からより多くの人が集まる機能と販売機能の相乗効果をもたらすものと、そういう意味ではこの2つは必要かなと。

ただ、ご質問にありましたプロポーザルの事業者の選定、この方法についても今後見直しの対象としておりますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

これから見直すことが多いようでありますので、3番目にまいります。

総事業費から補助金と過疎債の国負担分を差し引いた金額を参画事業者から徴収するという説明が以前ありました。これでは国負担分が回収不能となり、税金の使い方としては、私はふさわしくないように思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

補助金についての考え方だと思いますが、村では道路や水路、学校などの公共施設整備、それからまた、現在進めておりますデジタル化などソフト事業でも、様々な分野で補助金とか過疎債を活用しております。その際、国負担分を稼ぐ、そういうことはないわけでありまして。

そういう意味では、この事業だけ特別に国負担分を稼いで返さなければいけない、そういうことは考えておりません。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

国負担分を返せという話ではなくて、普通に事業として考えるならば、施設を作った方は家賃収入をもらうわけです。家賃収入でもって投下資本を回収していく、これが一般的な社会の構造なんですよ。ですから、私が言いたいのは、作った建物を6億とすれば、そのうち1億村負担だから1億だけ回収しますというのは、少々5億円の無駄遣いに私には思ってしまうんですが、いかがですか。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

村の財政、それからまた行政の在り方、公共施設の在り方について、またご理解いただければと思います。

例えば体育館とかグラウンドとか、村でも使用料は頂いております。それは受益者負担ということではありますが、それで投資した補助金分を回収するということは、回収するということか、金額の面でそういうことはないわけでありまして。それを回収するのは、金額面よりもむしろ村民の体力向上とか福利厚生とかそういう面で、最近で言いますウェルビーイングですか、そういう面での村民生活の向上、それを図るためというようなものになります。

そういう意味で、先ほど申し上げたこの施設だけ使用料で云々という話はちょっとないのかなと考えております。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

体育館が営利事業であるんですかね。ファームスに関しては営利事業なんですよ。だから、しっかり儲けてしっかり回収させていただくというのが基本の姿勢じゃないかと思うんです。

国からきたお金のうち村の負担分がこんだけ少ないからやってもいいでしょみたいな、そういう論理で今までうまくいかなかった事業っていっぱいありますよね。そういう消極的な考え方じゃなくて、もっと、施設を作ったらうちにやらせてくれというような事業を考えていただくことは、村を潤わせることになるんじゃないかと思うんです。いかがですか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

その辺しっかりお考えいただきたいのは、今回の道の駅の再整備について、村が営利活動を行うわけではありません。そこで行くのは、あくまでも農家の皆さんとか加工品を扱う皆さんが自分の品物売るということで、それは営利活動ですが、村はその場を提供するという意味で、村が利益を上げるということではありませんので、その辺はしっかりご理解いただきたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

そういう話をしたつもりじゃないんですけどね。もう少し村にとって、いろんな人が利益を享受できるような事業を考えていただけないかって話をした。

それと一つ言います。村は営利活動はしない、儲けちゃいけないって何回かお聞きしましたが、ふるさと納税で利益出ているんじゃないですか。違いますか。ふるさと納税は利益出ているんですよ。その辺の整合性はどう考えますか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

再三申し上げますけれども、そこで収益を上げるのはそこを利用する皆さんであります。それは農家所得の向上とか、それと子供たちとかお年寄りの皆さんがそこで憩う、さっき申し上げたウェルビーイング、そういう面での効果ということでありまして、村で収益を上げるものではありません。

ふるさと納税については税制度の話であります。税については、村がふるさと納税という形で税を受けますが、これはあくまでも税の再分配という意味で行っている制度だと思います。

その中で最終的に利益を上げているのは、そこにふるさと納税として商品を提供している事業者が最終的に営業活動を行うと、村は其中で税金の再分配を受けるという取組だと理解していますので、よろしく申し上げます。

議長（勝山 正）

丸山議員。

6番 丸山邦久 議員

だんだんもう質問がどう質問したらいいのかわかんなくなってきましたけども、私が言いたいのは、もう少しこの村にいろんな面で利益の落ちる施設ってのは、ほかに考えられませんかということが言いたい。考えられないなら考えられないって言ってください。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

質問なのかご意見なのかわかりませんが、再三申し上げておりますとおり、見直しをするということの中で、そういう考え方もあるということをご参考させていただきます。

議長（勝山 正）

丸山議員。

6番 丸山邦久 議員

今、企業版ふるさと納税というのもあるようなので、そういった形で納めていただくという方法もあるんじゃないかなと思います。

それでは4番目にいきます。田園プラザ川場のように、この計画を成功させるにはキーマン、カギになる人、組織の個人個人にやる気を出させる人が必要ですが、キーマンは村長でよろしいですか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

その役割を果たしたいと思いますが、必ずしも私でなくてはいけないということはないと思います。いずれにしても、それを思い切り前に進めていく、そのためにはやはりより多くの村民の皆様のご理解がなければいけないだろうと思います。

議長（勝山 正）

丸山議員。

6番 丸山邦久 議員

私は、村長がこの村の一番のリーダーなんで、キーマンになっていただきたいなと思っております。必ずしもそうじゃないって言われましたけども、それはやっぱりこういうことをやられる村長がキーマンになるべきだと思います。

5番目にまいります。全産業でほかに木島平村の振興策はありませんか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日躰正博）

ほかの産業全般でと言われると、かなり幅が広くてなかなか答弁に困るわけですが、ファームスに限らず村は既存の産業の振興を支援していきたいと、そしてまた新たな産業の創出を促し、さらに支援していきたいと考えております。

産業については営利活動であります。主体は民間であります。村は情報提供や企画づくり、それから創業、PR、販路拡大などしっかりと支援をしていく必要があると考えております。

議長（勝山 正）

丸山邦久議員。

6番 丸山邦久 議員

具体的にはまだお持ちのようではありませんので、これで質問を終わりますが、やはりこの村が豊かになって村民が幸せになるようなことを考えていただきたいなど要望して終わりにします。

議長（勝山 正）

以上で、丸山邦久議員の質問は終わります。

（終了 午後1時42分）

議長（勝山 正）

以上で、本日の日程は終了しました。

この際、申し上げます。

本日の会議における発言について、後日、会議録を調査し、不適切発言があった場合には、議長において善処いたします。

本日はこれで散会します。ご苦労さまでした。

（散会 午後1時42分）